

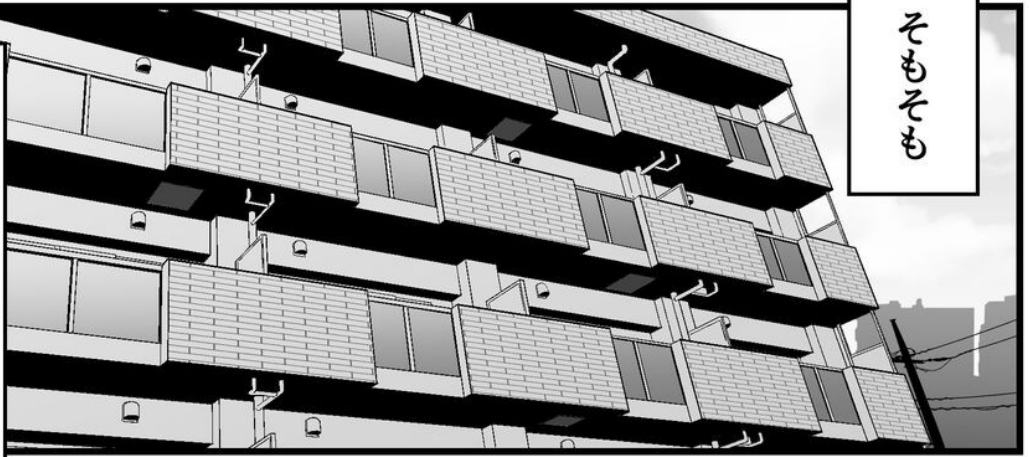
密事2

~四月のウソ~

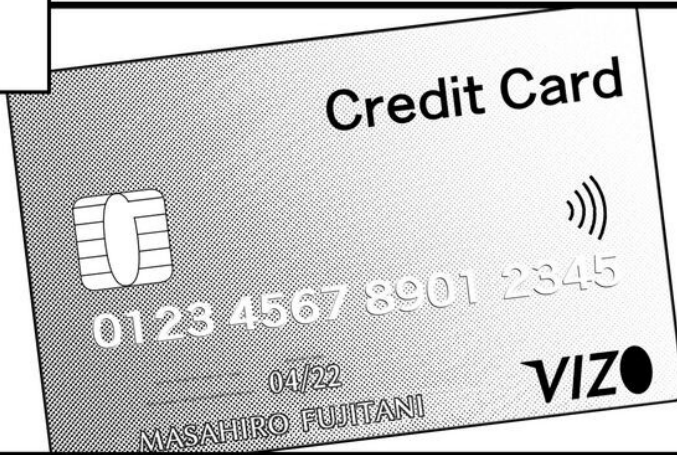


そもそも

私たちが家族が
住んでいる
部屋の家賃や光熱費は



ヒロ君のお父さんが
払っていた



今日もママ
帰ってこないねー
お仕事が
忙しいのかなあ

幸いなことに

母親が
自分を捨てたと
気付いていない



そして
今春小二になる
妹の咲奈は

行政に泣きついて
恥をさらすのは
ごめんだ

私が
この生活を
守り抜けばいいのだ



ガチャ

適当に座ってて

飲み物
とってくるね

ヒロ君と
付き合うことになったのは
いいもの

やっていることは
今までと変わらなかった

今日は咲奈が友達と
遊びに行ったので

私の部屋で
高校入学前の
課題をやることになった



……

咲月

終わらせるの
早いよ……

ヒロ君は
自分のペースで
やればいいよ

やだ！

早く終わらせて
咲月と遊ぶんだから

ヒロ君は
いつも

私のあとを
ついてきた

幼いころから
ずっとそうだった

ヒロ君は

子犬みたいで

かわいい

脂ぎって
偉そうで

ケダモノのような
あいつとは
大違いだ

私は

ヒロ君を
赤面させて
遊ぶのが大好きだ

咲月っ!

ちよっ

ナゲナゲ

はずかしいってば……

妹の咲奈と
幼馴染のヒロ君

この二人との日常を
守るためなら

この穏やかな世界を
壊さないためなら

私はなんだってできる



その日の
夜……



そして



前回と同じ……

< LIME



今日

4月1日(日) 13時
前回と同じ部屋に来るように

2



前回……

それだけで
うっせーな
いもしなかつた

腰を
奥の
何度か



みすず @***** · 2018/02/12
 パパ活再開しました
 2年前はお食事のみだったけど
 先月からは行為ありでやってます

両方経験してみて行為のが楽だと思っちゃった
 食事の時みたいに笑顔でいる必要もなく
 て、完全マグロ
 正常位で顔見えない時ずっと真顔で演技の
 声だけ出してる

ほとんどの女性が

演技をしているという

★★ @***** · 2018/02/17
 好きでもないおっさんと行為して気持ち
 くなったことなんてないし演技してんの
 かんねーのかよ
 仕事なんだから気持ちよくなってもしょう
 がなく演技してんの!

どこかの風俗嬢 @***** · 2018/03/01
 女って、気持ちが入ってないと舐められた
 り挿れたりしても全く感じないな〜
 男って女の演技で簡単にイけるし単純で
 いな〜って考えてる

パパ活でも風俗でも

ツツツ



あんな姿を晒してしまった
 自分が憎い

ヒロ君のお父さんが
 言った通り

私が生まれつきの
 淫乱だなんて
 信じたくない

ふしだらな
 母親の血が
 流れているから

私の身体が反応して
 しまったのだろうか





視界が揺れて

足が地に
つかない感覚

自分の鼓動が
耳につく



ちよっとだけ

確かめてみるだけ



自分で触るなんて



したことなかったのに



いつまでたっても

あのときの感覚はこない

なんだ
全然反応しないじゃない

こんなこと
もうやめよう

きっと私は
大丈夫だから

4月1日(日) 午前——



心と身体は別……



好きな人いるけどパパ活してる
心と体は別だし仕事とプライベートは割り
切ってるよ

2018年4月1日 1:05

11:22

じゃあこれからバイト行っ

11:27

ヒロ君に嘘をついた

我ながら
ひどいエイプリルフルだ

3月27日(火)

次の日曜どこか遊びに行かない？

19:06

既読
19:25

ごめん
バイトがあるから無理だよ

えっもうバイト始めるの！
どこのお店？

19:26

既読
19:28

データ入力の仕事だからお店じゃないよ

そっかあ～
こっそり見に行こうと
思ってたのに……

19:28

頑張ってるね！

19:29

既読
19:29

ありがとう



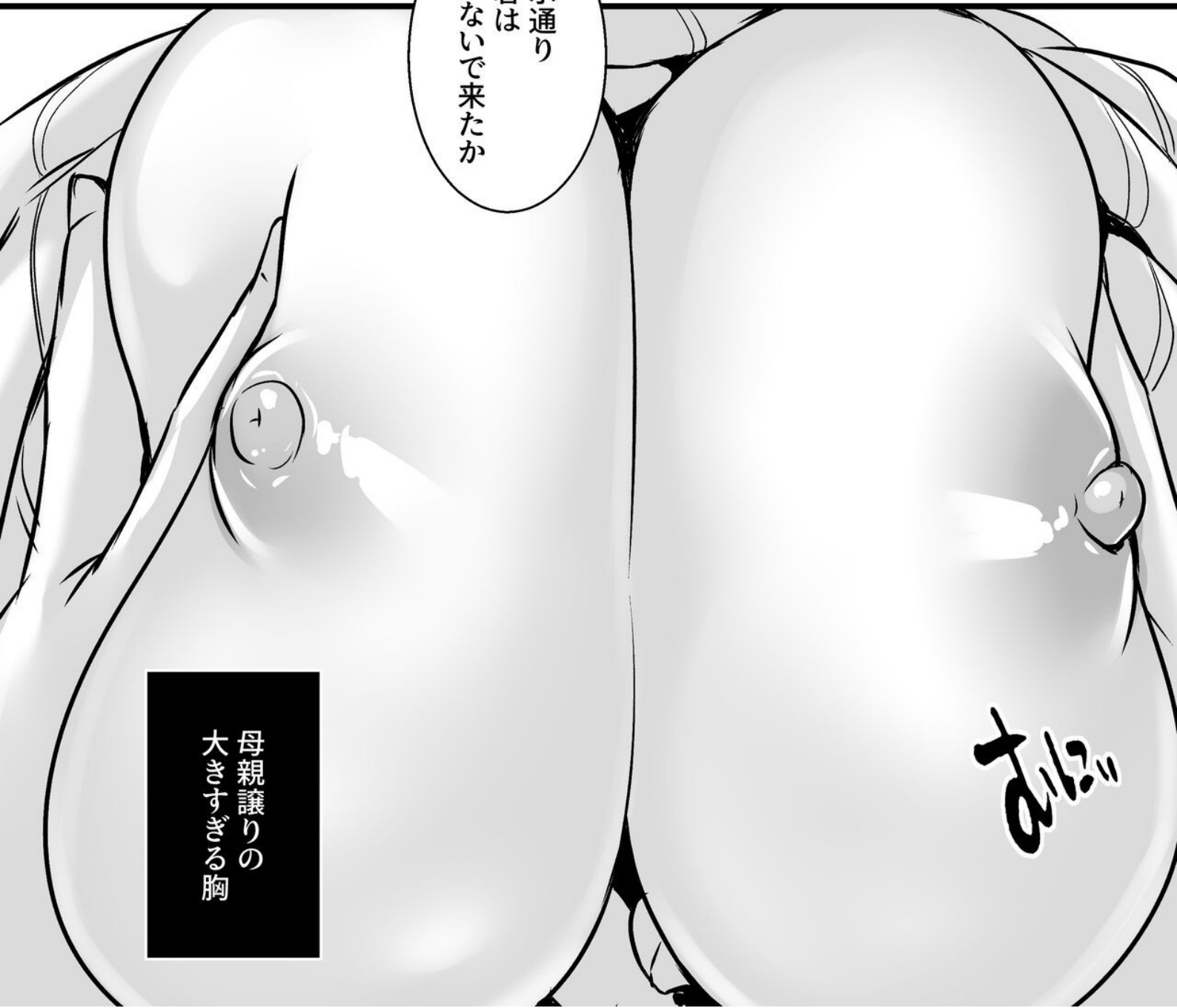
でもこれは

仕事であって
裏切りじゃない





指示通り
下着は
つけないで来たか



母親譲りの
大きすぎる胸

私はこの身体が
憎たらしかった

おや

さっそく
乳首を
固くしておって

実に
はしたない娘だ

でも今は

そんなことは
言っていられない

この身体のおかげで

今まで通りの
平穏な生活が
維持できるのだから

こっちも充分
濡れているな

……大丈夫

これくらいの刺激なら
何ともない

ふむ…

私が咲月ちゃんの
弱いところを
探し当ててあげよう

あの日は初めてだったから
刺激に慣れていなかっただけ





そんな……っ



自分で触った時は
何ともなかったのに……!!

どうして
そこばかり



だめだ

これ
いやだッ……!!



んっ



Who who

.....ついつつ.....つ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

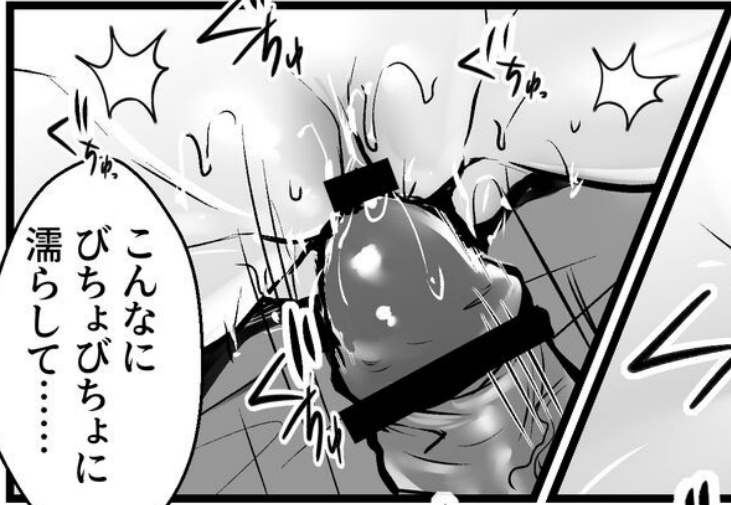
ちゅっ

ちゅっ



いきたくなかったのに

こいつに
こんな無様な姿を
晒したくなかったのに



こんなに
びちよびちよに
濡らして……



まったく



なんて残酷な
音なんだろう

でも
私は大丈夫
身体の反応と
心は別なんだから



さ

おおっ……

咲月ちゃんの膣^{なか}内^かが
激しくウネっているぞ

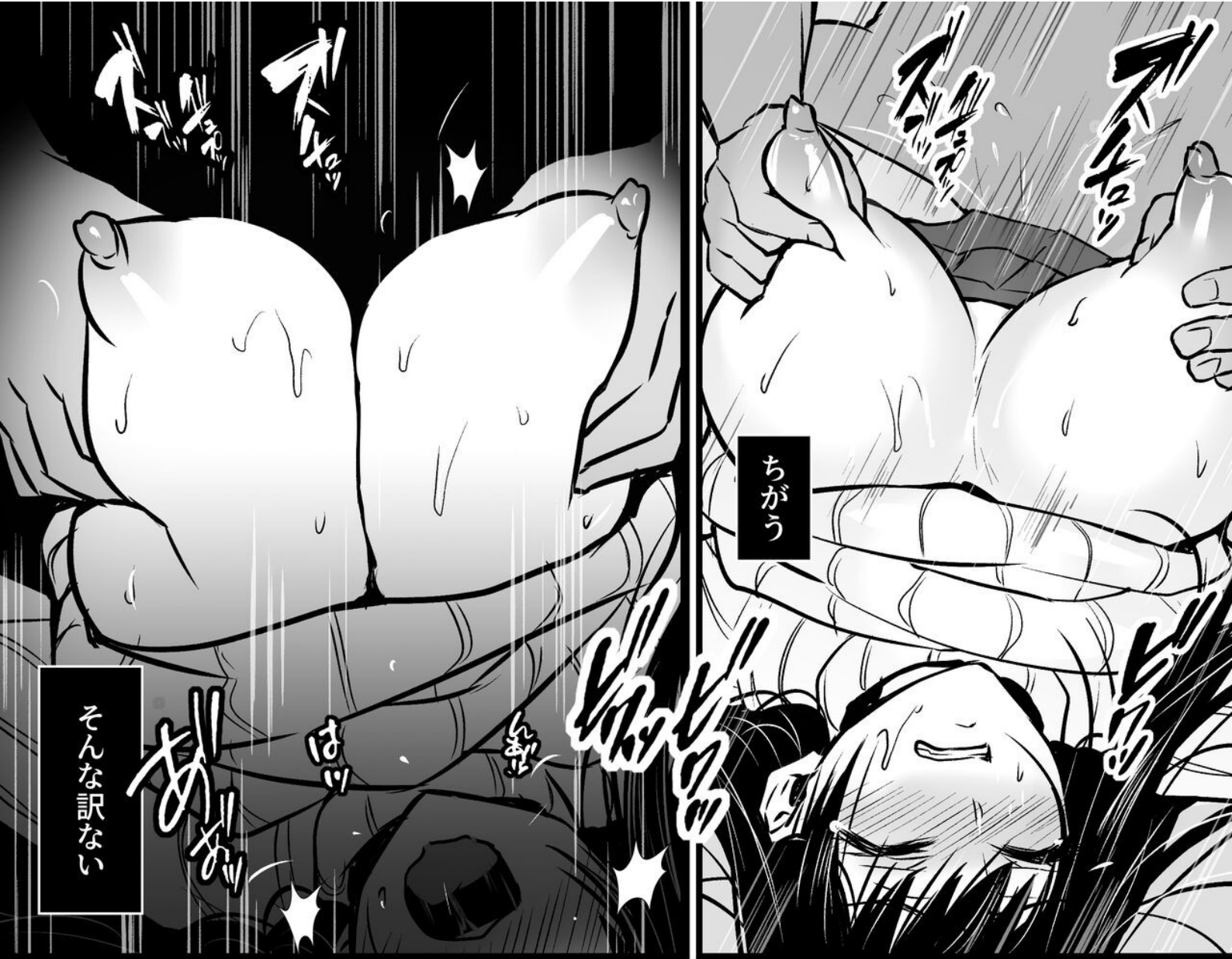
ぎゅぎゅ

そんなに
私のチンポが欲しかったのかい

母親と同じで
好きモノなんだな！

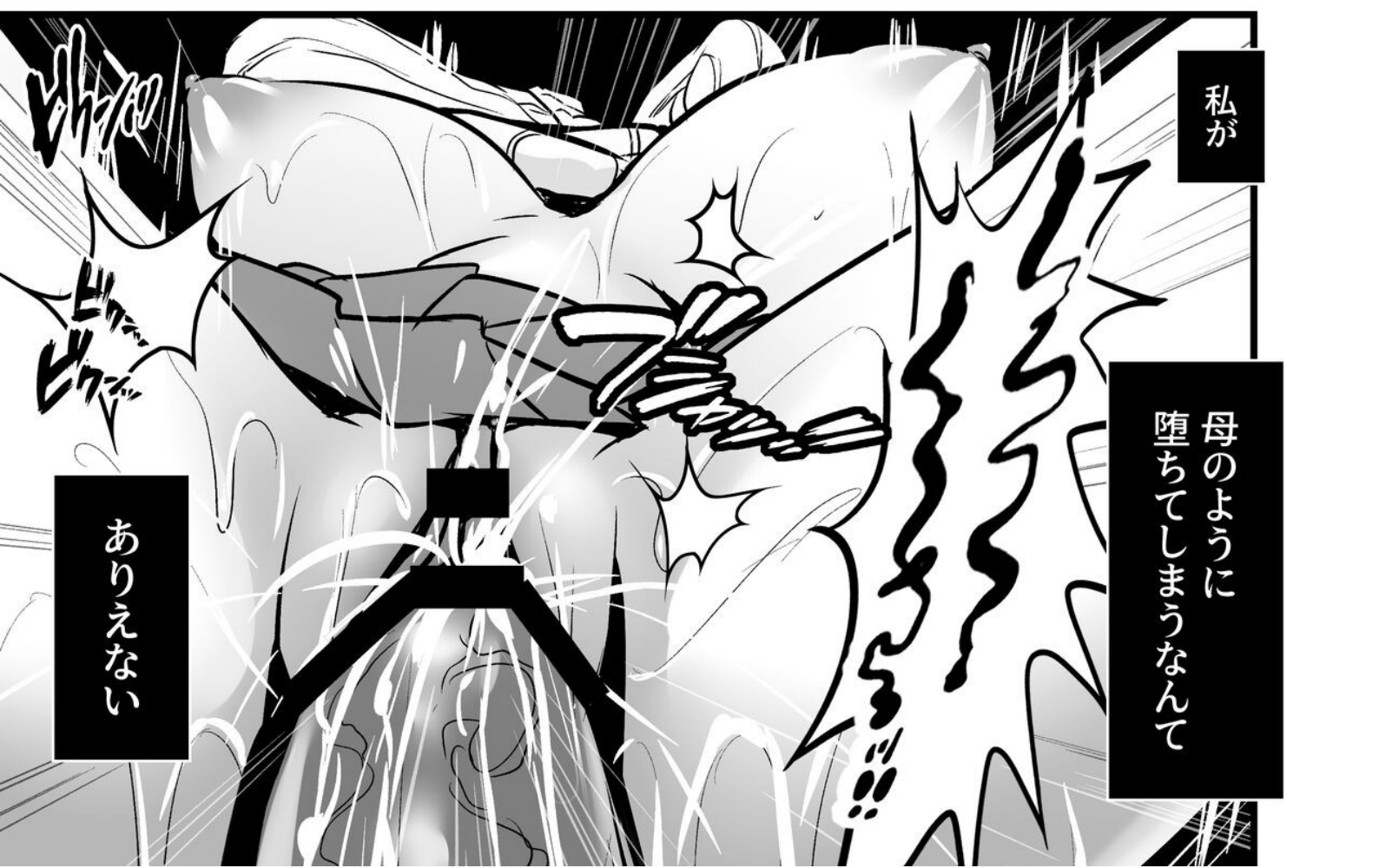
ぎゅぎゅ

ぎゅ



そんな訳ない

ちがう



私が

母のように
堕ちてしまうなんて

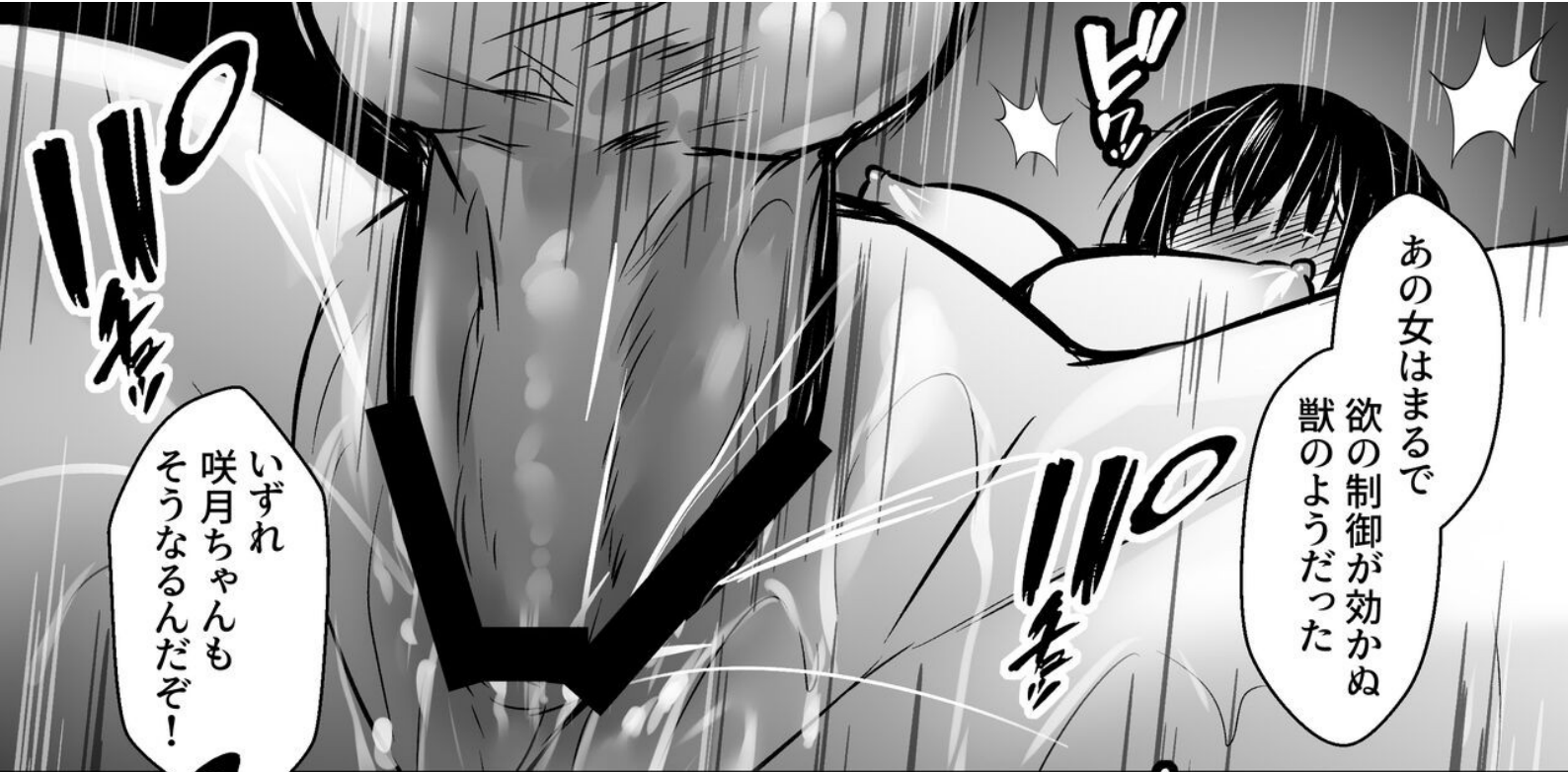
ありえない

そんなに
激しくされたら

さっき
いったばかりなのに

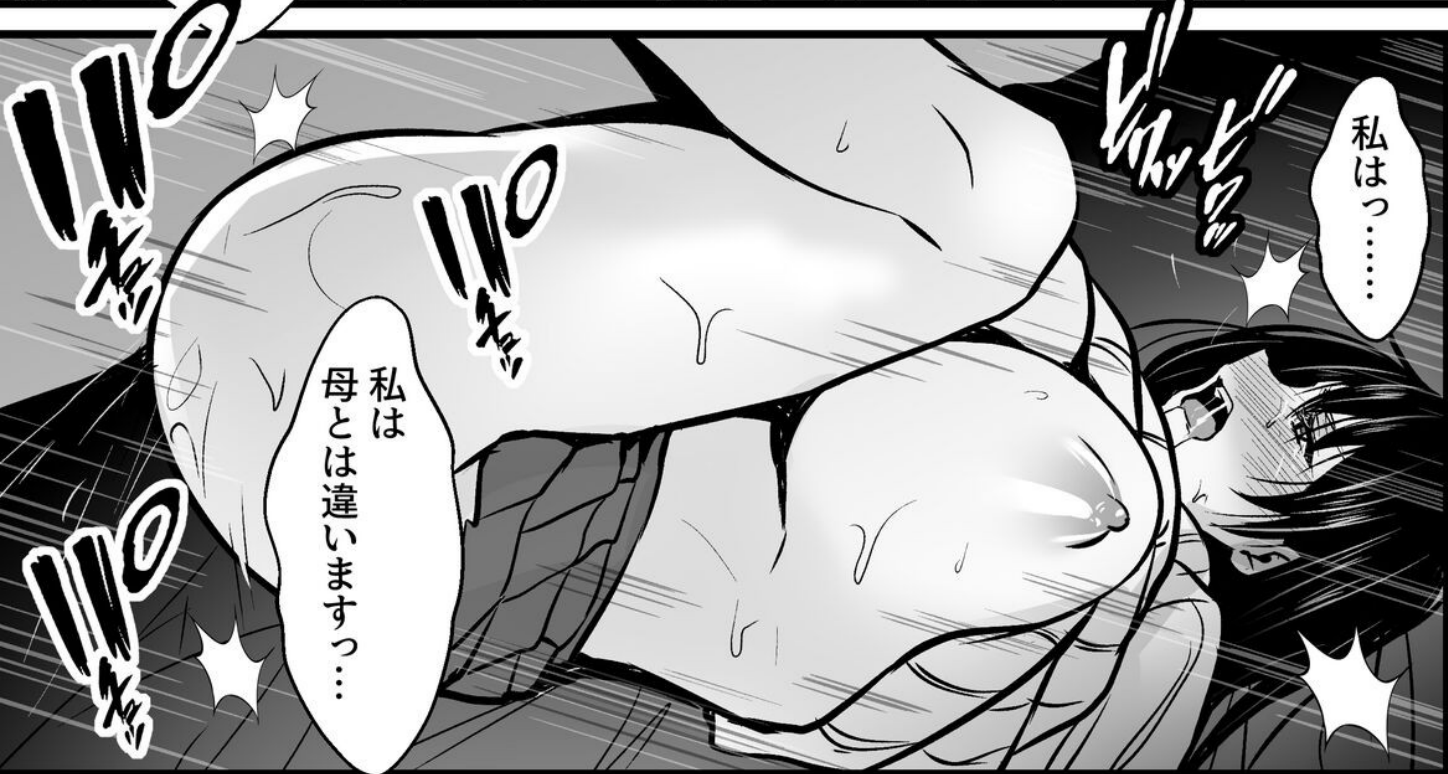
ははっ！
また派手にいきおって！

まあ
咲月ちゃんのお母さんには
及ばないがな！



あの女はまるで
欲の制御が効かぬ
獣のようだった

いずれ
咲月ちゃんも
そうなるんだぞ!



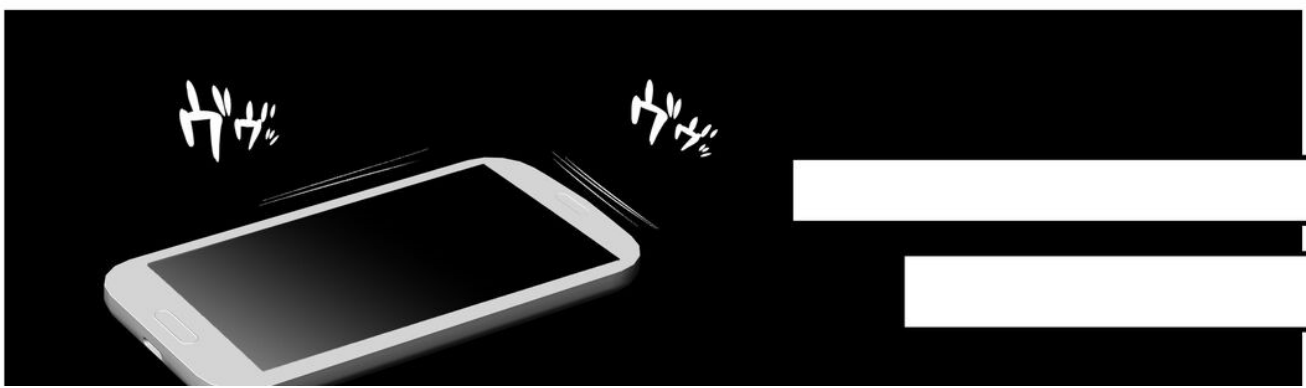
私はっ……

私は
母とは違いますっ……

そう
これは仕事

たとえ体が
反応してしまっても
心は絶対に渡さない

私は母のように
男に溺れたりはいしない





友達と
遊びに出ていた
妹の咲奈が

私が帰るまで

家の鍵を
忘れてしまい

ヒロ君の家で
お世話になっていた

ヒロ君
ありがとう

また
LIMEするね

私たち姉妹は
ヒロ君の家族に

本当に
助けられている……

咲奈

部屋に入ろう

ヒロ君と咲奈は
ヒロ君の父親と
私の母が
愛人関係に
あったことを
知らない

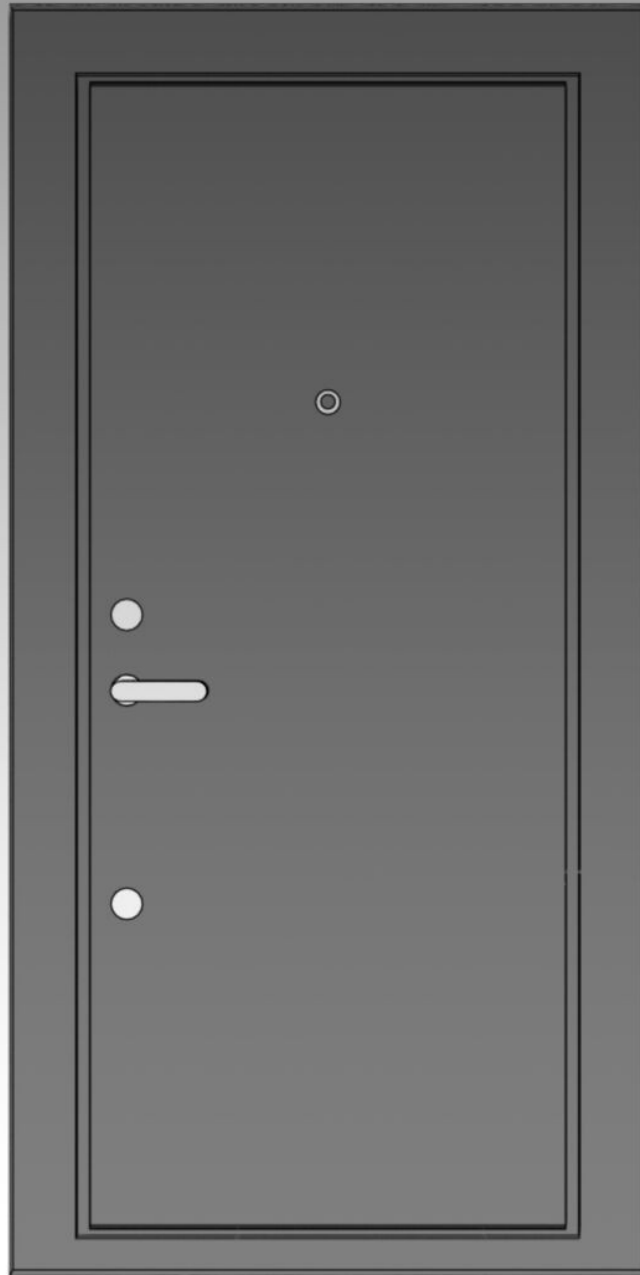


今日のこと
は誰にも



絶対に
知られてはならない

1973



この幸せを守るために――

To be continued.

